

越中一宮

<https://www.takase.or.jp>

令和八年、招福萬来。

午年は躍進と繁栄の年！。

古来、馬は人の暮らしを力強く守り、
支えてきました。

福の神 大国さまをお参りして、家内安全、
事業の繁栄をお祈りしましょう。

一月・二月の祭事

月次祭（毎月一日・十三日／
一月は十三日のみ）

歳旦祭（一月一日）

元始祭（一月三日）

昭和天皇祭（一月七日）

天神祭（一月二十五日）

節分祭（二月三日）

紀元節祭（二月十一日）

祈年祭（二月十七日）

天長節祭（三月二十三日）



「丙午の年頭にあたり」

宮司 藤井秀嗣

令和八年のお正月を迎えて、皇室の弥栄、国家の隆昌、氏子崇敬者各位のご多幸をお祈り申上げます。

昨年は昭和百年、大東亜戦争終結八十年という節目の年であり、一年を通して記念行事などが行われ、また、令和十五年に斎行される第六十三回神宮式年遷宮の諸祭儀も始まりました。今年は木曽の御札山から伐り出された御神木を神宮境内に曳き入れる「御木曳行事」が予定されており、木遣の声も勇ましく、奉曳に参加する大勢の掛け声で、伊勢の街は賑やかになることでしょう。

今年の干支は「午」ですが、伊勢の神宮には皇室から献上された御神馬があります。御神前に参りする日があるそうで、運が良ければお目にかかるかも知れません。今年の午年を正式に十二支でいって「丙午」となります。子牛寅卯と始まる甲乙丙丁と始まる十干と、

前回の丙午となつた年（昭和四十四年）の出来事を見てみる

今年も宜しくお願ひ申し上げます。

十二支の組み合わせ六十通りのうちの四十三番目になります。

「丙」は陽の火を表し、太陽のようないるさや情熱を意味しております。万物全てに平等に光や熱を与えるという意味があります。

「午」は十二支のうちの七番目で、方角でいえば南、時刻でいえば午前十一時から午後一時までの間を指し、「丙」と同じく、陽の火の意があります。午（馬）の運動能力の高さから、行動力やスピードなど、張るパワーを意味しています。この強力な字が組み合わさる「丙午」の年は、情熱と行動力から成長著しい活気のある年になるといわれています。

また、陽の火を表すということから、火事が多く発生する年になるとともいわれ、昔から用心しなければならない年とされていました。丙午の年は、社会の大きな変化が期待できる年かもしれません（悪い変化は遠慮）。この年を良き年にするためにも、抱える仕事や使命に情熱をもつて取り組み、目標を定め、その達成に向けて一層の努力をしなければなりません。高瀬の大神様（大國様）から広大無辺なる御加護をいただき、陽気と活気が溢れる実り多き年となりますようお願いしております。

令和八
（丙午）年
皇紀二六八六年

謹賀新年

宮司 藤井秀嗣

権籬宣 山森信人

松本正靖

大島未鈴

赤松美佐

辻 百華

中井直美

上口友子

嘱託 ブラジルナゾーネ

支参集人殿

巫女 源 結羽



新嘗祭斎行

—あわせて篤農家表彰並びに感謝状授与式—

古くより農作業や人々の暮らしの指針とされてきた二十四節気のひとつ「小雪」の翌日十一月二十三日、その年の五穀豊穰を大神様に感謝申し上げ、氏子崇敬者の益々の繁栄を祈念する、令和七年最終の大祭「新嘗祭」を斎行しました。



浦安の舞

た
柴田博基氏
(砺波市)、中山
司氏(小矢部市)
がそれぞれ農事
功労者表彰を受
けられました。



献穀の儀

産業の発展と穏やかな暮らし
年間最終の大祭となるこの「新嘗祭」は、古くは農作物の豊かな稔りに感謝する祭事でしたが、時代の移り変わりと共に、日本のすべての産業の発展と、国民の穏やかな暮らしを大神様に感謝するものへと、少しづつ姿を変えながら、現代まで大切に受け継がれてきました。

「献穀の儀」は
本年度献穀田奉
耕者ファーム八
乙女代表 澤田秀継氏、井波地区
農業者会会長 波能治男氏、同副
会長 岩崎宏志氏にご奉仕いただ
きました。



A group of people in traditional kendo armor, including helmets and protective gear, are practicing swordsmanship in a gymnasium. They are holding long wooden swords (bokken) and appear to be engaged in a formal training session or competition. The gymnasium has a polished wooden floor and large windows in the background.

九月十五日、今回で六十三回目を数える「奉納剣道大会」を開催しました。毎年、高瀬神社の境内にて賑やかに行われる本大会ですが、本年は天候不良の為、井波社会体育館での開催となりました。

会場にはいつもと変わらぬ、熱の入った声援と竹刀の音が響き渡りました。

第63回 剣道大会 開催

▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽
 ③②①高 ③②①高 ③②①中 ③②①中 ③②①小
 足池中嶋校上清西藤校石藤宮中學安藤柿高藤小学
 原田田田生田本田森生森田島藤生田永原畠井生
 希華結女子颯成和一子ろ弥愛舞子雄快男子紗莉和花子
 伊音菜畔磨容樹颯は沙心子彦翔生來子花南



明治節祭斎行

—明治天皇のご聖業を偲んで—

アジアの東日出るところ
聖の君のあらはれまして
古きあめつちとざせる霧を
大御光にくまなくはらい
教えあまねく道明らけく
治めたまへる御代たふと

「明治節唱歌」より



現在では「文化の日」として広く国民に親しまれる十一月三日、「明治節祭」を斎行しました。

昭和二年に制定された「明治節」は、同二十三年までわが国近代国家建設の為にお力を尽くされ、豊かで平穏な今日の礎を築かれた、明治天皇のご功績を讃える祝日でした。

お子様の健やかな成長を祈って 七五三祝祭

穏やかな秋の陽射しに包まれた10月15日、お子様の無事の成長を大神様に感謝し、今後ますますの健康と幸せを祈念する「七五三祝祭」を斎行しました。

3歳の「髪置き」、5歳の「袴着」7歳の「帯解き」の儀式を起源とする、古来わが国に受け継がれる七五三詣。色とりどりの風船を手に境内を元気にかけ回る子供たちの姿に、大神様も目を細められたことでしょう。



神明宮例祭斎行

十一月十三日、当神社の本殿に、主祭神 大國主 大神と共にお祀り申し上げる、天照大神のご神徳を讃え、末永い国の隆昌と平穏を祈念する「神明宮例祭」を斎行しました。

巫女の舞う式神楽の清らかな鈴の音は、ご参列の皆様それぞれの感謝の真心に重なり合うよう、ひとつ拝殿に響き渡りました。

祝祭日には国旗を掲げましょう

《令和八年》

祭事暦

○毎月十三日・十三日	全	十二月二十三日	十一月二十五日	十一月十三日	十一月三日	十月十七日	十月四日	九月二十三日	九月十三日	九月三日	八月二十二日	七月二十九日	七月三十日	六月十九日	六月三十日	五月二十九日	四月二十日	四月三日	三月二十九日	三月二日	二月二十七日	二月二日	二月二十五日	二月三日	二月二十三日	二月二日	二月一日
交通安全祈願祭	除師新	七神明	神嘗	秋例	中人	除七	夏稻	風	祈昭	春	神	春季	鎮天	天	昭和	天	元	歲	元	始	天	天	天	天	天	天	天
月次祭	走夜	五明治	奉祝	ま	形	越	荷	宮年	和季	火	武天	皇靈	祭遙	長	年	分	元	節	節	年	節	節	節	節	節	節	節
	大祝	三宮	節	祭遙	禮	感熱	夕	大例	穀	大	例	穀	例	穀	例	穀	例	穀	例	穀	例	穀	例	穀	例	穀	例
	祭祓	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭





拝殿に掛けられた直径10センチの一文字注連縄

高瀬神社注連縄奉納講では毎年、新年を迎えるにあたり、その一年間、社殿を飾る新しい注連縄を奉納しています。本年も大神様のおそば近くをお守りする拝殿内の注連縄を掛け替え、商売繁盛、家内安全、また、ご奉賛いたいた講員各位の「願い事」を祈念しました。

しめなわ 注連縄奉納奉告祭 —注連縄に願いをこめて—



注連縄奉納講奉賛者芳名

株式会社富山環境整備

キヨーリン製薬グループ工場

株式会社井波工場

タチフレックス

株式会社

チユーリップ交通

株式会社

となみ観光交通

株式会社

ナナンテア・フルール

株式会社

大和トランスポーテーション

株式会社

岩倉清司

オーバル

株式会社川金

北日本放送

株式会社

高岡支社

株式会社九谷屋

庄川建鋼

株式会社

越路ガーデン

有限会社さつき堂

株式会社三樂園

株式会社ジオミックス

有限公司

庄川萬盛堂

庄川自動車

株式会社

富山泉源

株式会社

セシダン電子

株式会社

中田 武

中村屋

南部スタジオ

有限公司

庄川萬盛堂

東洋通信工業

株式会社

庄川泉源

株式会社

庄川萬盛堂

庄川自動車

株式会社

富山総合ビルセンター

株式会社

中田 武

中村屋

南部スタジオ

有限公司

庄川萬盛堂

東洋通信工業

株式会社

庄川泉源

株式会社

庄川萬盛堂

庄川自動車

株式会社

富山総合ビルセンター

株式会社

中田 武

中村屋

南部スタジオ

有限公司

庄川萬盛堂

東洋通信工業

株式会社

庄川泉源

株式会社

庄川萬盛堂

庄川自動車

株式会社

富山総合ビルセンター

株式会社

中田 武

中村屋

南部スタジオ

有限公司

庄川萬盛堂

東洋通信工業

株式会社

庄川泉源

株式会社

庄川萬盛堂

庄川自動車

株式会社

富山総合ビルセンター

株式会社

中田 武

中村屋

南部スタジオ

有限公司

庄川萬盛堂

東洋通信工業

株式会社

庄川泉源

株式会社

庄川萬盛堂

庄川自動車

株式会社

富山総合ビルセンター

株式会社

中田 武

中村屋

南部スタジオ

有限公司

庄川萬盛堂

東洋通信工業

株式会社

庄川泉源

株式会社

庄川萬盛堂

庄川自動車

株式会社

富山総合ビルセンター

株式会社

中田 武

中村屋

南部スタジオ

有限公司

庄川萬盛堂

東洋通信工業

株式会社

庄川泉源

株式会社

庄川萬盛堂

庄川自動車

株式会社

富山総合ビルセンター

株式会社

中田 武

中村屋

南部スタジオ

有限公司

庄川萬盛堂

東洋通信工業

株式会社

庄川泉源

株式会社

庄川萬盛堂

庄川自動車

株式会社

富山総合ビルセンター

株式会社

中田 武

中村屋

南部スタジオ

有限公司

庄川萬盛堂

東洋通信工業

株式会社

庄川泉源

株式会社

庄川萬盛堂

庄川自動車

株式会社

富山総合ビルセンター

株式会社

中田 武

中村屋

南部スタジオ

有限公司

庄川萬盛堂

東洋通信工業

株式会社

庄川泉源

株式会社

庄川萬盛堂

庄川自動車

株式会社

富山総合ビルセンター

株式会社

中田 武

中村屋

南部スタジオ

有限公司

庄川萬盛堂

東洋通信工業

株式会社

庄川泉源

株式会社

庄川萬盛堂

庄川自動車

株式会社

富山総合ビルセンター

株式会社

中田 武

中村屋

南部スタジオ

有限公司

庄川萬盛堂

東洋通信工業

株式会社

庄川泉源

株式会社

庄川萬盛堂

庄川自動車

株式会社

富山総合ビルセンター

株式会社

中田 武

中村屋

南部スタジオ

有限公司

庄川萬盛堂

東洋通信工業

株式会社

庄川泉源

株式会社

庄川萬盛堂

庄川自動車

株式会社

富山総合ビルセンター

株式会社

中田 武

中村屋

南部スタジオ

有限公司

庄川萬盛堂

東洋通信工業

株式会社

庄川泉源

株式会社

庄川萬盛堂

庄川自動車

株式会社

富山総合ビルセンター

株式会社

中田 武

中村屋

南部スタジオ

有限公司

庄川萬盛堂

東洋通信工業

株式会社

庄川泉源

株式会社

庄川萬盛堂

庄川自動車

株式会社

富山総合ビルセンター

株式会社

中田 武

中村屋

南部スタジオ

有限公司

庄川萬盛堂

東洋通信工業

株式会社

庄川泉源

株式会社

庄川萬盛堂

庄川自動車

株式会社

富山総合ビルセンター

株式会社

中田 武

中村屋

南部スタジオ

有限公司

庄川萬盛堂

東洋通信工業

株式会社

庄川泉源

株式会社

庄川萬盛堂

庄川自動車

株式会社

富山総合ビルセンター

株式会社

中田 武

中村屋

南部スタジオ

有限公司

庄川萬盛堂

東洋通信工業

株式会社

庄川泉源

株式会社

庄川萬盛堂

庄川自動車

株式会社

富山総合ビルセンター

株式会社

中田 武

中村屋

南部スタジオ

有限公司

庄川萬盛堂

東洋通信工業

株式会社

庄川泉源

株式会社

庄川萬盛堂

庄川自動車

株式会社

富山総合ビルセンター

株式会社

中田 武

中村屋

南部スタジオ

有限公司

庄川萬盛堂

東洋通信工業

株式会社

庄川泉源

株式会社

庄川萬盛堂

庄川自動車

株式会社

富山総合ビルセンター

株式会社

中田 武

中村屋

南部スタジオ

有限公司

庄川萬盛堂

東洋通信工業

株式会社

庄川泉源

株式会社

庄川萬盛堂

庄川自動車

株式会社

富山総合ビルセンター

株式会社

中田 武

中村屋

南部スタジオ

有限公司

庄川萬盛堂



大国さまの処方せん ⑯

『はたらく細胞』を点検しませんか？

南砺市民病院

副院長 熊野 義久

皆さんの記憶にある

と思います。

皆さんも定期的に健診

【神饌米】

〈身祝〉

	年齢	生まれ年
還暦	61歳	昭和41年(午)
古希	70歳	昭和32年(酉)
喜寿	77歳	昭和25年(寅)
傘寿	80歳	昭和22年(亥)
米寿	88歳	昭和14年(卯)
卒寿	90歳	昭和12年(丑)
白寿	99歳	昭和3年(辰)

で採血検査を行い、自分

【初穂米】

〈年齢〉

	年齢
井波地域農業者会	60歳
代表澤田秀継殿	61歳
小石達人殿	62歳
大塚昌一大殿	63歳

ビン、血小板数を定期的

に確認するだけでも血液

疾患を見つけることがあります。

程度できます。

皆さんも定期的に健診

【樂農志Farm】

〈年齢〉

	年齢
岩倉和弘殿	60歳
河原祥滋殿	61歳
藤井了選・志帆殿	62歳
【里芋】	63歳

で採血検査を行い、自分

【初穂米】

〈年齢〉

	年齢
井波地域農業者会	60歳
代表澤田秀継殿	61歳
小石達人殿	62歳
大塚昌一大殿	63歳

で採血検査を行い、自分

【樂農志Farm】

〈年齢〉

	年齢
岩倉和弘殿	60歳
河原祥滋殿	61歳
藤井了選・志帆殿	62歳
【里芋】	63歳

で採血検査を行い、自分

【樂農志Farm】

〈年齢〉

	年齢
井波地域農業者会	60歳
代表澤田秀継殿	61歳
小石達人殿	62歳
大塚昌一大殿	63歳

で採血検査を行い、自分

【樂農志Farm】

〈年齢〉

	年齢
井波地域農業者会	60歳
代表澤田秀継殿	61歳
小石達人殿	62歳
大塚昌一大殿	63歳

で採血検査を行い、自分

【樂農志Farm】

〈年齢〉

	年齢
井波地域農業者会	60歳
代表澤田秀継殿	61歳
小石達人殿	62歳
大塚昌一大殿	63歳

で採血検査を行い、自分

【樂農志Farm】

〈年齢〉

	年齢
井波地域農業者会	60歳
代表澤田秀継殿	61歳
小石達人殿	62歳
大塚昌一大殿	63歳

で採血検査を行い、自分

【樂農志Farm】

〈年齢〉

	年齢
井波地域農業者会	60歳
代表澤田秀継殿	61歳
小石達人殿	62歳
大塚昌一大殿	63歳

で採血検査を行い、自分

【樂農志Farm】

〈年齢〉

	年齢
井波地域農業者会	60歳
代表澤田秀継殿	61歳
小石達人殿	62歳
大塚昌一大殿	63歳

で採血検査を行い、自分

【樂農志Farm】

〈年齢〉

	年齢
井波地域農業者会	60歳
代表澤田秀継殿	61歳
小石達人殿	62歳
大塚昌一大殿	63歳

で採血検査を行い、自分

【樂農志Farm】

〈年齢〉

	年齢
井波地域農業者会	60歳
代表澤田秀継殿	61歳
小石達人殿	62歳
大塚昌一大殿	63歳

で採血検査を行い、自分

【樂農志Farm】

〈年齢〉

	年齢
井波地域農業者会	60歳
代表澤田秀継殿	61歳
小石達人殿	62歳
大塚昌一大殿	63歳

で採血検査を行い、自分

【樂農志Farm】

〈年齢〉

	年齢
井波地域農業者会	60歳
代表澤田秀継殿	61歳
小石達人殿	62歳
大塚昌一大殿	63歳

で採血検査を行い、自分

【樂農志Farm】

〈年齢〉

	年齢
井波地域農業者会	60歳
代表澤田秀継殿	61歳
小石達人殿	62歳
大塚昌一大殿	63歳

で採血検査を行い、自分

【樂農志Farm】

〈年齢〉

	年齢
井波地域農業者会	60歳
代表澤田秀継殿	61歳
小石達人殿	62歳
大塚昌一大殿	63歳

で採血検査を行い、自分

【樂農志Farm】

〈年齢〉

	年齢
井波地域農業者会	60歳
代表澤田秀継殿	61歳
小石達人殿	62歳
大塚昌一大殿	63歳

で採血検査を行い、自分

【樂農志Farm】

〈年齢〉

	年齢
井波地域農業者会	60歳
代表澤田秀継殿	61歳
小石達人殿	62歳
大塚昌一大殿	63歳

で採血検査を行い、自分

【樂農志Farm】

〈年齢〉

	年齢
井波地域農業者会	60歳
代表澤田秀継殿	61歳
小石達人殿	62歳
大塚昌一大殿	63歳

で採血検査を行い、自分

【樂農志Farm】

〈年齢〉

	年齢
井波地域農業者会	60歳
代表澤田秀継殿	61歳
小石達人殿	62歳
大塚昌一大殿	63歳

で採血検査を行い、自分

【樂農志Farm】

〈年齢〉

	年齢
井波地域農業者会	60歳
代表澤田秀継殿	61歳
小石達人殿	62歳
大塚昌一大殿	63歳

で採血検査を行い、自分

【樂農志Farm】

〈年齢〉

	年齢
井波地域農業者会	60歳
代表澤田秀継殿	61歳
小石達人殿	62歳
大塚昌一大殿	63歳

で採血検査を行い、自分

【樂農志Farm】

〈年齢〉

	年齢
井波地域農業者会	60歳
代表澤田秀継殿	61歳
小石達人殿	62歳
大塚昌一大殿	63歳

で採血検査を行い、自分

【樂農志Farm】

〈年齢〉

	年齢

<tbl_r cells="2" ix

神宮初穂曳に参加

献穀田だより



拔穂祭斎行

— 大神様に豊作を感謝 —

九月十五日、高瀬神社獻穀田において「拔穂祭」を斎行しました。当時は五名の早乙女(刈乙女)の皆さんにより「拔穂の儀」が行われ、見事に稔った稻穂をひと株ひと株丁寧に刈り取りました。

この日、収穫された稻は、当神社の新嘗祭、また懸税として伊勢の神宮の神嘗祭に供えられました。

昭和四十七年に「お木曳行事」として始められたこの行事に今回参加されたのは、本年度の獻穀田奉耕をご担当いただいた澤田秀継氏をはじめ 農事組合法人ファーム八乙女の皆さん。

次回、第六十三回神宮式年遷宮は、令和十五年の秋に行なわれます。



ファーム八乙女の皆さん(外宮にて)

十月十六日、伊勢の神宮で行われた「初穂曳」に参加しました。約千六百人の参加者の手により、およそ一キロの距離を神宮の神域まで運ばれました。



地元の皆さんのお木遣に元気をもらしながらの奉曳

表紙絵



「令和八年干支絵馬」。
今年のテーマは「人間万事塞翁が馬」。
人生七転び八起き、頑張ります!

編集後記

小矢部市に本拠を置く(株)ゴールドワインは昨年創立七十五周年を迎えた。スポーツ分野はもとより宇宙空間において、飛行士の健康や船内

環境を維持する為の特殊な衣料を開発するなど、その貢献は多岐にわたり。領域は違えど私達神道人も、手渡された伝統を守り次世代に引き継ぐ為の、新しい手立て(智)

感謝うさぎからのお知らせ

わたしはご本殿前の感謝うさぎです。ずっとひとりだったわたしに仲間が出来ました。

神恩感謝うさぎ 鹿熊秀夫 殿

ご奉納ありがとうございました。



新しい仲間のうさぎさん



— 豆まき神事のご案内 —

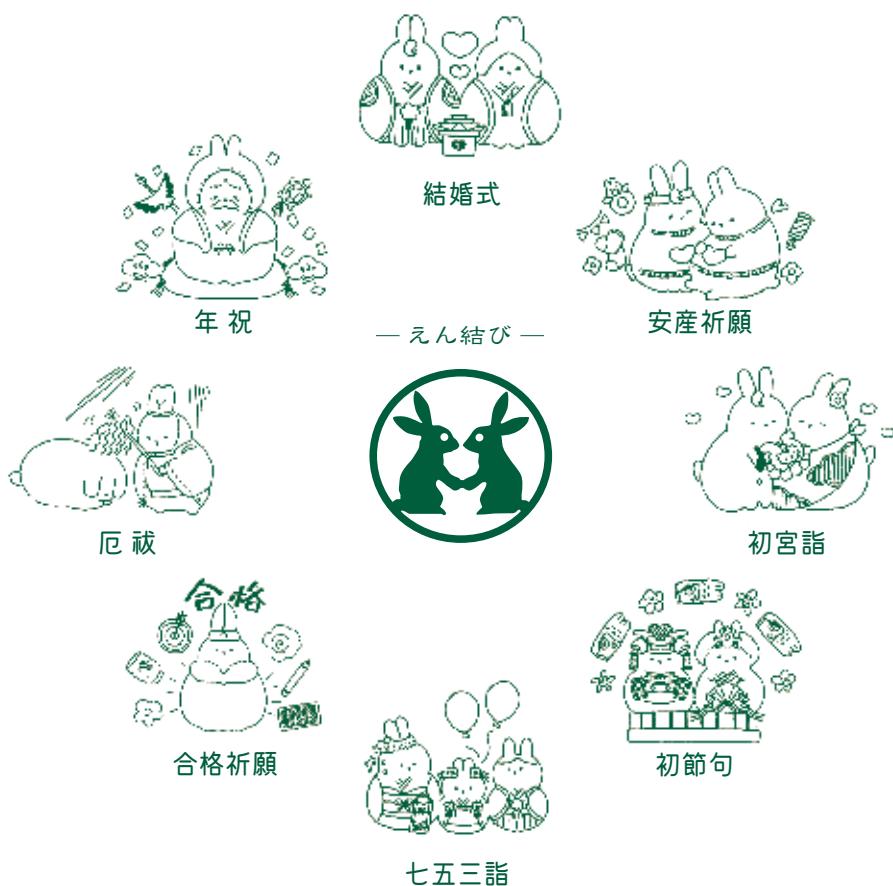
古く節分は、「季節の変わり目」を表す言葉であり、立春が一年の始まりとする考えに基づき、この節目を特に「節分」と呼ぶようになりました。そして、季節の変わり目には災厄が生じるとの古い信仰から、現在も各地で豆まきなどの「追儺神事」が行われています。

越中一宮高瀬神社の豆まき神事に、どうぞご参加下さい。

とき 令和8年2月3日(火) 午後3時
ところ 高瀬神社 拝殿



人生儀礼



どうか神様、これからも
私たちを見守つていてください。

私たちの結婚は、感謝することから始めたい。
今日の決意を忘れず、ふたりで歩んでいきます。

かけがえのない日々でした。
人生を彩るたくさんのご縁、
大切に育ってくれた家族、
苦楽を共にしてきた友、
人生に過ごした日常は
無事に生まれますように。
健康新ちますように。

人生を開けますように。
良いご縁がありますように。
人生を切り開けますように。
人生を切り開けますように。

ずっと祈り、祈られてきた。
無事に生まれますように。
健康新ちますように。

感謝と祈り

あなたの人生に 神社がある

越中高瀬神社

